

授業科目名	ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	大学名	宇都宮大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期
学部・学科等	留学生・国際交流センター	曜日	水曜日
必修・選択区分	各大学等で決定される	時限（時間）	5～6時限（12時50～14時20分）
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	
担当教員名	湯本 浩之		
電話番号（代表者名）		e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> この授業では、現代社会が直面する貧困や格差、環境破壊や人権侵害、文化摩擦や地域紛争などの“グローバル”であり、かつ“ローカル”でもある問題をテーマとしたワークショップを実際に体験しながら、地球社会の現状を理解し、その解決策を検討します。また、アクティブ・ラーニングや参加型学習の基本的な考え方やその方法論を活用したワークショップ形式の授業を中心に展開します。</p> <p><前提とする知識・経験> 前提とする知識は必要ありませんが、国内外に見られる貧困や格差の問題をはじめ、環境や人権、平和や文化などの問題への関心が望まれます。関連性の高い科目や分野としては、国際関係論や市民社会論、文化交流や国際協力のほか、地域デザインやまちづくり、教育方法論や教科教育法、道徳教育や総合学習(環境や国際理解)などがあげられます。</p> <p><授業の具体的な進め方> この授業は「ワークショップ（ディスカッションやグループワークなど）」を中心に展開するほか、必要に応じて、教員の講義や解説も予定します。いずれにせよ、この授業の“要”は、教員からの知識や情報の教授にあるのではなく、履修者相互の学びあいにありますので、履修者の積極的かつ主体的な授業参加を強く期待します。ただし、本授業は、グループワークやワークショップを効果的に実施するため、履修者が20名未満の場合は未開講とします。また、使用教室の収容人員を上回る履修希望者がいる場合には、選考を行う場合があります。</p> <p><授業計画> 第1週オリエンテーションとワークショップ（WS）1「もし無人島に行くとしたら？」 第2週WS 2「“豊かさ”って何？“幸せ”って何？」 第3週WS 3「“割り箸はもったいない”のか？」 第4週WS 4「“地球にやさしい”ってどういうこと？」 第5週WS 5「“水”はどこから？」 第6週WS 6「あなたの“仲間”はどこですか？」 第7週WS 7「あってもよい“ちがひ”あってはいけない“ちがひ”」 第8週WS 8「日本の常識は世界の非常識？」 第9週WS 9「貧富の格差はなぜ広がる？」 第10週講義1「貧困と格差、世界と日本は今？」 第11週WS 10「今そこにある地球の危機とは？」 第12週講義2「地球的課題とは何か？」 第13週WS 11「アクション・プランをつくる（1）」 第14週WS 12「アクション・プランをつくる（2）」 第15週WS 13「グループ・プレゼンテーション」 ※ただし、履修者の人数やワークショップの進捗状況によって、授業計画の内容や順序を変更する場合があります。</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 教科書は使用しません。各回の授業でレジュメや資料を配付しますので、保存用のファイルを各自用意して下さい。なお、この授業の内容を補足する参考図書として次のものを紹介します。 西あひ・湯本浩之編著『グローバル時代の「開発」を考える：世界と関わり、共に生きるための7つのヒント』明石書店、2017年。 田中治彦・三宅隆史・湯本浩之編著『SDGsと開発教育：持続可能な開発目標のための学び』学文社、2016年。</p> <p><成績評価法> 平常点70%（出席30%、授業中の提出物40%）、最終プレゼン10%および最終レポート20%。</p> <p><教員からのメッセージ> どんな学問を専攻するにせよ、将来どんな進路や職業を選択するにせよ、困難な時代や多様な社会を「読み解き」、そこに問題や課題を発見し、自分とは異なる他者と共働しながら、代案や解決策を提示していくことが求められるでしょう。そのためには、「与えられた問題の正解を探す」のではなく、「答えのない問題を皆と協力して解いていく」という「学び」が学校や大学などの教育現場はもちろん、様々な地域や組織や集団の中で、持続的に展開していくことが重要だと思います。アクティブ・ラーニングや参加型学習は、本学が教育目標に掲げる“あらたな社会”を拓き支える人材育成のための具体的な教育・学習論のひとつであり、次代を担おうとする宇大生が身につけてよい「グローバル・リテラシー」ないしは「現代的教養」のひとつであると考えています。この授業がその第一歩となれば幸いです。</p>		